

釜石市が会場の一つとなるラグビーワールドカップ日本大会まで300日を切った。岩手県では観客輸送やスタジアム警備に加え、外国からの観戦客を受け入れる「おもてなし」の検討も本格化している。

ちよんまげ姿の男性が温泉での水着の着用禁止を訴えたり、口から火を吹いて料理の辛さを表現したり。くすつと笑えるデザインが評判となり、英国のBBC放送でも紹介された。発案した希望郷いわて文

岩手 笑えるアイコン 評判

英語圏以外からも多くの来県が見込まれる。そこで有効な案内手段になりそうなのが絵で情報を伝える「アイコン」だ。県は専用ホームページで、宿泊施設や飲食店が利用できる26種類を公開している。

化大使のコンサルタント村尾隆介さんは「おもてなしはホスピタリティではなくエンターテインメント。英語で笑わせるのは大変だがアイコンなら簡単です」。近くラグビー関連の新デ

火を吹いて料理の辛さを伝えるアイコン（村尾さん提供）



ザインが追加される予定だ。東北のサービス業界もスクラムを組んで積極的に活用してはいかが？

（盛岡総局・斎藤雄一）

北から